

## 2025年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年5月12日

上場会社名 初穂商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 7425 URL <https://www.hatsuho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 斎藤 悟

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室長

(氏名) 成田 哲人

TEL 052-222-1066

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	9,034	1.9	423	1.9	456	1.2	258	5.6
2024年12月期第1四半期	8,862	3.4	416	13.6	461	10.8	273	9.4

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 290百万円 ( 5.0%) 2024年12月期第1四半期 305百万円 ( 10.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	78.53	
2024年12月期第1四半期	83.42	

(注) 当社は、2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	21,476	10,618	44.2
2024年12月期	21,872	10,592	43.3

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 9,493百万円 2024年12月期 9,460百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期		0.00		68.00	68.00
2025年12月期					
2025年12月期(予想)		0.00		75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,700	5.1	620	5.2	750	5.7	470	1.2	142.91
通期	36,500	4.8	1,350	4.7	1,560	3.9	1,000	2.7	304.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期1Q	3,480,660 株	2024年12月期	3,480,660 株
期末自己株式数	2025年12月期1Q	188,997 株	2024年12月期	188,958 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期1Q	3,291,682 株	2024年12月期1Q	3,284,320 株

(注)当社は、2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益は改善傾向にあり、雇用・所得環境が改善する中で、景気は緩やかに回復いたしました。一方で、継続的な物価上昇による個人消費の下振れや、通商政策など米国の政策動向による影響、欧州や中東での地政学リスクなど、景気後退リスクが懸念されております。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移しております。民間投資におきましては、首都圏のマンション総販売戸数など住宅建設は全体的に概ね横ばいで推移し、住宅市場において盛り上がり欠ける状況が続いております。設備投資におきましては、堅調な企業収益を背景に持ち直しの動きがみられます。また、依然として鋼材価格をはじめとするあらゆるコストの高止まりが継続しており、厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、三本の事業セグメントを柱に、多角的で安定した成長を続け、建設セグメントビジネスに特化した建設資材商社のNo.1を目指して取り組んでおり、住環境関連事業の立て直しを進めております。建設資材卸売業に属する当社グループでは、住宅建設市場の冷え込みが当面続くと予想される厳しい外部環境に直面しておりますが、エクステリア事業におきましては、販売強化に努めたことにより、業績は堅調に推移いたしました。内装建材事業におきましては、非住宅向けの建設需要が前年に引き続き堅調に推移しましたが、コストアップを上回る増収には至りませんでした。住環境関連事業におきましては、一部商品におけるコストに見合った販売価格の改定や、配送の一部内製化によるコスト低減により、利益率が改善いたしました。また、老朽化した社員寮の解体費用18百万円を営業外費用の固定資産除却損として計上しております。その影響により、当社グループの業績は前年同四半期比において増収となりましたが、経常利益ベースでは減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、90億34百万円(前年同四半期比1.9%増)、営業利益4億23百万円(前年同四半期比1.9%増)、経常利益4億56百万円(前年同四半期比1.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億58百万円(前年同四半期比5.6%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (内装建材事業)

内装建材事業は、売上高は46億71百万円(前年同四半期比1.4%増)、営業利益は3億2百万円(前年同四半期比10.8%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、非住宅向けの建設需要は前年に引き続き堅調に推移しましたが、各種コストが上昇するなかで、コストアップ以上の増収には至らず、利益率も横ばいで推移したことから、前年同四半期比において増収減益となりました。

#### (エクステリア事業)

エクステリア事業は、売上高は32億89百万円(前年同四半期比4.5%増)、営業利益は2億2百万円(前年同四半期比21.9%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、住宅市場の冷え込みが続き、人件費等のコスト上昇が続く厳しい状況ではあるものの、販促キャンペーンや大型物件の受注の増加など販売強化に努めたことにより、前年同四半期比において増収増益となりました。

#### (住環境関連事業)

住環境関連事業は、売上高は11億9百万円(前年同四半期比3.3%減)、営業利益は45百万円(前年同四半期比37.8%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、住宅建設市場の低迷が続いており、取扱商材別に好不調のばらつきはありましたが、一部商品における販売価格の改定や、配送の一部内製化によるコスト低減により、利益率が改善し、前年同四半期において、減収増益となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は214億76百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億96百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が5億72百万円増加し、受取手形及び売掛金が6億86百万円、電子記録債権が3億37百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は108億57百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億22百万円減少いたしました。これは主に、電子記録債務が28億72百万円増加し、支払手形及び買掛金が31億59百万円、未払法人税等が1億21百万円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は106億18百万円となり、前連結会計年度末に比べて26百万円増加いたしました。これは主に、配当金の支払及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期通期の業績予想につきましては、2025年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、欧州・中東情勢等の地政学リスク、米国の通商政策の動向等、依然として先行き不透明な状況が続くものと見込まれており、今後の状況の変化により、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

[ご参考 2025年度(2025年12月期連結業績見通し)]

	第2四半期(累計)	通 期
売上高	177億円	365億円
営業利益	6億20百万円	13億50百万円
経常利益	7億50百万円	15億60百万円
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	4億70百万円	10億円

## (注) 上記連結業績見通しに関する注意事項

2025年度(2025年12月期)連結業績予想値は、現時点で入手可能な情報をもとに行った見通しであります。そのため、上記連結業績予想数値はこれらの要因の変動により大きく異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,160,366	6,733,229
受取手形及び売掛金	※ 6,111,751	※ 5,424,892
電子記録債権	※ 1,883,633	※ 1,546,142
商品	1,238,730	1,279,675
その他	109,632	110,324
貸倒引当金	△2,174	△1,847
流動資産合計	15,501,938	15,092,418
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,509,627	3,510,046
その他(純額)	1,096,741	1,082,489
有形固定資産合計	4,606,368	4,592,536
無形固定資産		
顧客関連資産	269,725	256,239
その他	24,841	33,432
無形固定資産合計	294,567	289,671
投資その他の資産		
その他	1,515,391	1,545,101
貸倒引当金	△46,101	△43,586
投資その他の資産合計	1,469,290	1,501,515
固定資産合計	6,370,225	6,383,723
資産合計	21,872,164	21,476,142
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※ 6,547,679	3,388,675
電子記録債務	1,976,295	※ 4,848,667
短期借入金	320,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	411,636	411,636
未払法人税等	271,732	150,096
賞与引当金	136,440	166,283
その他	628,806	635,705
流動負債合計	10,292,589	9,921,065
固定負債		
長期借入金	537,574	443,414
役員退職慰労引当金	26,665	28,785
資産除去債務	26,986	27,036
その他	395,638	437,025
固定負債合計	986,864	936,261
負債合計	11,279,453	10,857,326

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,134	885,134
資本剰余金	1,334,675	1,334,675
利益剰余金	7,327,492	7,362,163
自己株式	△113,438	△113,504
株主資本合計	9,433,864	9,468,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,697	25,094
その他の包括利益累計額合計	26,697	25,094
非支配株主持分	1,132,149	1,125,250
純資産合計	10,592,711	10,618,815
負債純資産合計	21,872,164	21,476,142

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	8,862,263	9,034,794
売上原価	7,268,181	7,390,617
売上総利益	1,594,082	1,644,177
販売費及び一般管理費	1,177,949	1,220,218
営業利益	416,132	423,958
営業外収益		
受取利息	1,048	2,171
受取配当金	659	837
仕入割引	36,625	36,856
その他	8,827	14,625
営業外収益合計	47,160	54,492
営業外費用		
支払利息	1,102	1,292
固定資産除却損	—	18,750
その他	403	1,969
営業外費用合計	1,506	22,012
経常利益	461,787	456,438
税金等調整前四半期純利益	461,787	456,438
法人税、住民税及び事業税	115,945	139,745
法人税等調整額	42,942	24,796
法人税等合計	158,888	164,542
四半期純利益	302,899	291,896
非支配株主に帰属する四半期純利益	28,913	33,389
親会社株主に帰属する四半期純利益	273,985	258,506

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	302,899	291,896
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,455	△1,672
その他の包括利益合計	2,455	△1,672
四半期包括利益	305,354	290,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276,584	256,904
非支配株主に係る四半期包括利益	28,769	33,320

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日等をもって決済処理をしております。なお、決算日が連結決算日と異なる連結子会社の当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が、四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
受取手形及び売掛金	132,131千円	6,382千円
電子記録債権	120,433	22,221
支払手形及び買掛金	732,953	—
電子記録債務	—	376,844

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	22,796千円	25,452千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	内装建材事業	エクステリア事業	住環境関連事業	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	4,605,482	3,109,273	1,147,507	8,862,263
外部顧客への売上高	4,605,482	3,109,273	1,147,507	8,862,263
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	38,282	—	38,282
計	4,605,482	3,147,556	1,147,507	8,900,546
セグメント利益	339,192	165,808	32,883	537,884

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	537,884
全社費用(注)	△121,751
四半期連結損益計算書の営業利益	416,132

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2025年1月1日至2025年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	内装建材事業	エクステリア事業	住環境関連事業	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	4,671,656	3,253,508	1,109,629	9,034,794
外部顧客への売上高	4,671,656	3,253,508	1,109,629	9,034,794
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	35,567	—	35,567
計	4,671,656	3,289,075	1,109,629	9,070,361
セグメント利益	302,416	202,201	45,299	549,917

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	549,917
全社費用(注)	△125,959
四半期連結損益計算書の営業利益	423,958

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。